



至誠の泉

甲斐市立双葉中学校
学校だより
発行 校長 輿石 信
令和5年度 第1号
2023. 4. 12

新年度の出発にあたって

季節は桜から若葉に移り、過ごしやすい時期となりました。本校では、4月6日に新任式・始業式、7日に入学式が行われ、令和5年度が始まりました。保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学、ご進級おめでとうございます。本年度は、1年生145名、2年生151名、3年生147名、合計443名でのスタートとなりました。

私は、小林大校長の後任として着任しました、輿石 信（こしいし まこと）です。創立から70年を超え、これまでに、8,878人もの卒業生を送り出している歴史と伝統、そして輝かしい実績のある双葉中学校に着任したことの責任の重さを感じております。保護者の皆様、地域の皆様、どうぞよろしく願いいたします。

私は、本校を、子どもたちにとって、「明日も行きたい学校」、保護者の皆様にとっては、「子どもを安心してあずけられる学校」、働く教職員にとっては、「明日も勤めたい学校」、地域の方にとっては、「誇れる学校」にしていきたいと考えています。そのために、子どもを真ん中に置いて、私たち教職員が、家庭・地域の皆様と共に、明るく前向きに、知恵を出し合い、協力して、一つ一つの教育活動を丁寧かつ確実に進めるとともに、教育課題に粘り強く取り組んでいくことが大切であると考えています。

また、これまでコロナ禍により子どもたちは制約の多い学校生活を送らざるを得ませんでした。本年度は、新型コロナの感染状況を見極めつつ、必要な感染対策を継続しながら、教育活動を可能な限り通常に戻し、子どもたちの笑顔あふれる学校にしていきたいと考えています。ぜひ、ご理解とご協力をお願いします。

さて、本校の生徒の一日は、8時の生徒玄関の開放とともに、一人一人が丁寧に靴を揃えることから始まります。「日本一の玄関」は双葉中学校の誇るべき「宝」です。整然と並んだ靴はその場の空気を清々しく凜としたものに変えます。8時25分には「至誠の鐘」が校舎内に響きわたり、5回の鐘に合わせて生徒は1分間黙想をします。静寂の中、鐘の余韻が校舎の端々まで広がります。「整頓」・「黙想」という二つの双中伝統のルーティンは、心を整え、一日のイメージを作る大切な時間です。

生徒の皆さん、靴を揃え、心を整えた状態で、至誠の鐘を聞きながら、“今日”という二度と訪れることのない一日をいかに有意義に過ごすかを一人一人が考えてください。イメージは行動の第一歩です。



校 訓 『至 誠』

学校教育目標 主体的に学び、心身ともに健やかで、人間性豊かな生徒の育成

- ・自ら学び、よく考え、創意工夫する生徒
- ・感じる心や思いやりの心をもつ生徒
- ・目標をもち、粘り強くやり抜く生徒
- ・健康で、体力のある元気な生徒

入学おめでとうございます！ ～令和5年度 入学式～

4月7日（金）、145名の新入生を迎え、令和5年度入学式が挙行されました。来賓は甲斐市教育長職務代理の金子初男様とPTA会長の小林正博様のお二人をだけでしたが、期待と希望に輝いた1年生の姿はとても凛々しく、また、担任の先生から一人ずつ呼名された時の返事もしっかりとしており、大変素晴らしいものでした。

入学生代表生徒の誓いの言葉も力強く立派でした。私からは、「4つのC」～チャンス(Chance)・チャレンジ(Challenge)・チェンジ(Change)・チャージ(Charge)～をいつも念頭において行動してほしいこととお話しました。1年間を通して、双中生一人一人の挑戦する姿がたくさん見られることを期待しています。そして、中学校3年間を通し、心身ともに健やかで、人間性豊かな人間に成長してくれることを願っています。



双葉中学校HPアドレス <https://www.city-kai.ed.jp/fchu/>